

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼの		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 10日		令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 10日		令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設環境(一軒家・作業場の敷地の広さ)に開放感がありのびのびと活動ができる	子供たち一人一人の思いや意欲を大切にしながら その子の特性に寄り添った支援、活動プログラムを計画し取り組んでいる	今後もお子様、保護者の皆様に信頼と安心感をもって利用していただけるよう、一人ひとりを大切にした支援に努める
2	農福連携型支援	作業を通してお子様の可能性をみつける、仕事の基礎を身につける、個々のスキルを見つめる、収穫する達成感から自身をつける、食への学びなど、お子様の特性に寄り添った支援、活動プログラムを計画し行っている。	作業プログラムの充実、専門的知識の充実を図る。
3	将来に向けての自立課題作業の取り入れ	家庭や利用開始前に利用していた事業だけでなく、将来を見通して必要な力をつけることを目指している。	軽作業、手先・指先作業などを取り入れている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者アンケートの結果から、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもとの交流活動の機会が少ないことに課題があることが考えられる	放課後児童クラブや児童館等、地域の交流の機会が少ないことや積極的に訪問することができていない	機会があれば積極的に地域とかかわっていきけるような活動を取り入れていきたいと考えています
2	学校を卒業するお子さんの支援力が上がっていない	現在小学生のお子様が多いが、その先高校を卒業するお子さんの支援が課題となる	高校卒業とともに社会に出るため、コミュニケーション力や集中力、体力、生活リズムを組み立てる支援を行っていく
3	農作業活動において雨天時や季節によって作業への取り組みが制限されることが時々ある	専門的な作業場の見学や交流を行っていききたい 雨天時でも場所を変え作業の取り組みを行っているが更に幅広く支援の提供を行っていききたい また、職員のスキルアップを図っていききたい	専門的な作業場の見学や交流を行っていききたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぽの

公表日 令和8年4月1日

利用児童数 26名

回収数 23名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23				庭が広い	室内外スペースを確保しており作業・集団活動共に行える空間となっています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			1		適切な配置数であることを周知していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23				広くて明るい	掲示物や教材の配置がお子さんにわかりやすいように配慮している。建物が平屋なため出入口・トイレ等段差がないが庭は広くウッドデッキ等の段差があるため安全に配慮します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23				新しくきれい	日々の清掃、換気、教材・玩具・テーブル・椅子等の消毒を行い、感染予防に努めている。作業に合わせたセラム内・外の活動の場所があります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23					個々のニーズを職員が共有に理解し安心して過ごせる環境を整えるよう努める。個々に必要な特性に合わせた内容の課題を用意しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					子ども家庭庁、行政の指導のもと事業所支援プログラムの作成と公表に努めています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1				モニタリングにより丁寧な個別支援計画作成に努めていく。本人のニーズを把握し、保護者のニーズを含めた支援計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					ミーティングにて支援方法の確認を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23					個々の成長に合わせて支援内容の変更を行えるように努めている。各行事やイベントを取り入れています。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	2	9		地域の他の子どもと活動する機会がもていないのが現状である。保護者の要望や必要に応じて実施していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1				契約時に運営規定の内容を踏まえた重要事項説明書、契約書を使用し説明している。質問等があれば随時対応しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1				面談等にて説明している。支援内容を説明し保護者と職員間で共有をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	6	4	望んでいない	ご要望に応じて実施していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23					面談や送迎の際、その日の様子を伝え課題や支援内容について共有理解を図るよう努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2				面談や送迎の際、その日の様子を伝え課題や支援内容について共有理解を図るよう努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					お子さんを中心とした視点を持ち、お子さんの最善の利益を優先することを大切にしている。お子さんに合わせた作業内容の選択に努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	7	4		ご要望、必要に応じて実施していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		1		相談や苦情窓口については契約時に重要事項説明書を提示しながら説明している。相談を受けた内容については即時対応を努める。急な困りごとには電話でも対応しています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23				個人情報が記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		1	定期的に避難訓練、経路確認を行っています。広く周知ができるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			3	安全計画に基づき、設備環境の点検、防災訓練等の周知方法を検討します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		1		1	安全計画に基づき、感染症や怪我などについての注意喚起についてよりわかりやすい周知方法を検討します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23				怪我等などの注意喚起や事業所の取り組みについてよりわかりやすい周知方法を検討します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				安心できる環境づくり、療育に努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23				楽しく通っている 活動が楽しいと思える支援内容を提案していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			運営、支援に満足していただけるよう職員一同資質向上に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ほの		公表日		令和 8年 4月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	課題用具、テーブルの高さ・配置を適宜に組み替えている。着替えや休憩がとれるスペースを分け設けています。	開放感があり広いため安全の確保に努めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	法令で必要とされる配置数を設けています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	身の回りの用具入れ・課題用具の配置、掲示物やタイムスケジュールボードを使い絵や写真でわかりやすく工夫をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	毎日の清掃、道具の消毒、換気等、環境整備に努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	個室、カーテンで仕切るスペースがあり個別に利用できる環境を整えています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○	各種会議を定期的に行い、業務改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	評価表により保護者様のご意向を把握し業務改善につなげています。その他、アンケートや面談にてご意見を伺っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	定期的にミーティングを行っています。	非常勤職員含め、意見交換共有が出来る時間を増やしていきたいよう努めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	施設内研修を定期的に行っています。外部研修の機会も確保し希望に応じて受講しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	ミーティングなどを含め担当者によりプログラムの立案を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○	日々の活動の様子や保護者との面談・アンケート、相談支援員などの情報を含めてニーズや課題に沿い計画作成を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	定期的にケース会議を行い検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	職員間で情報共有し支援を行っています。（ケース会議を行い共有、支援内容の確認を行っています）		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	保護者や相談支援員からいただいた情報と日々の活動の記録をすることで支援の参考にしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	5領域を全利用者の支援内容に盛り込んで計画を作成しています。家族支援、移行支援等は家族の移行や年齢等に合わせ設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	ミーティングを行い担当者により立案を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	ミーティングにて支援内容の振り返りを行い改善に努めています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の発達段階や興味に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		打ち合わせを行い、支援の内容や役割分担について確認し連携を取り支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援の振り返り、気づいた点等を申し送り共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		創作活動では、農作業を行っています。発達に応じて日常生活に必要な動作を促す活動を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で自己選択する場面を設け支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催される場合には、適任者を選んで出席します。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて体制は整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様を通して情報をいただいています。学校のメールを登録、学校連絡会の機会をいただいています。お迎え時等の引継ぎを行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて体制は整えています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて体制は整えています。（移行先、相談員へ支援内容、情報提供、ケース会議の参加）	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		発達支援センターで発達検査・知能検査を受けた場合は報告書を保護者様同意のもと共有しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		行えていません。	ご要望がありましたら検討していきたいと思えます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			要請がありましたら参加の体制を整えていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際や面談時、電話等にて共有理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご要望がありましたら検討していきたいと思えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明しています。また、不明な点、利用者負担については変更があった際にお知らせしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談や電話連絡にて行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現在保護者の方同士、きょうだい同士で交流することは行っていません。	ご希望があった場合は行ってみたいです。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	苦情受付担当者を選任し迅速な対応が出来るよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	HPやSNS等で活動の様子を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	お子様のそれぞれの意思表示の仕方を職員が理解し、伝達方法に配慮しています。(絵カード・ボードに書く・ハンドサインなど)	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		行えていませんが検討課題にします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	保護者様と情報を共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	保護者様と情報を共有しています。また、アセスメントにて把握しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	定期点検を行い安全に努めています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ミーティングを行い、振り返りを行い再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	定期的に委員会会議、内部研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	定期的に委員会会議、内部研修を行っています。		